

ます。子どもたちを車で送迎することは、その機会を潰しているとも言えるのです。

また、登下校は毎日のことなので、基本的な生活習慣が身につきます。家を出発する前の身支度、朝食、歯磨き、そして夜の就寝時間まで影響してくるんです。これらの習慣を身に付けることは、子どもたちの自立にも繋がります」

昔とは時代が違います。送迎する他に選択肢がない場合もあります。それでも、歩ける距離の位置で乗降するなど、少しでも歩く習慣を身に付けることが大事なのではないでしょうか。



放り出された靴と「自立」

桂川小学校が目指す「学力」。2つ目は「自立」です。自立とは、他の援助や支配を受けず、自分の力で物事を行うことを言います。午前9時。朝の会が終わわり、1時間目が始まりました。1年生の教室では、国語や算数などの授業が行われています。

ふと昇降口を覗くと、1年生の靴箱の前に、片方だけポツンと靴が落ちています。また違う場所、入口の扉付近にも無造作に置かれています。

もちろん、誰かが靴箱の靴を放り出した訳ではありません。1年生が登校した際、靴箱に入れず置いたままにしているのです。「靴は靴箱に入れる」というごく当たり前のことを自分でやる。小学校1年生の自立は、そういった基本的なことからは始まります。



2年生をお手本に

1年生の授業中。机が歪んだ状態で座っていたり、手遊びをしたりする子どもも少なからずおり、幼稚園や保育園(所)にはなかった初めての45分という授業になかなか慣れない子もいます。

次に、辻校長は2年生の教室へ案内してくれました。きちんと並んだ机と椅子。先生をしつかりと見据えて座り、先生の「わかる人！」の声にいち早く「ハイ！」と手を挙げてアピールする子どもたち。集中力の切れた子は見受けられません。

「2年生になるとずいぶん落ち着きます」と笑顔で話す辻校長。1年生の間に取り組んだ「耐力」と「自立」を身につけるための取り組みの成果は、2年生になってしっかりと表れており、1年生のお手本になっています。

耐力と自立を身に付けるための取り組み

桂川小学校では、次のようなことを行い、耐力と自立への取り組みを進めています。詳細は、「教育情報桂川つ子」などで、今後も随

時お知らせしていきます。

- ①「桂川小学校の生活ルール」の家庭配布

- ②徹底のための全校指導
- ③月1回の「ちこく・欠席・忘れ物〇強化週間」の実施

特に、耐力をつけるために取り組んでいる活動が、毎年12月の土曜授業で行っている校内スポコン大会です。

スポコンとは、福岡県が取り組んでいる小学生のスポーツコンテストのことです。馬とび、ジグザグ走、ドッジボールラリー、大なわとびの4種目に全学年がチャレンジし、上位の記録を出したクラスは県大会への出場権が得られます。

子どもたちは、大会に向けて1月から練習を始め、好記録を目指します。どの競技もチームワークが重要になってくるものばかり。子どもたちは耐力を身に付けると同時に協力することの大切さを学びます。



家庭の協力で更なる耐力と自立を

そんな小学校での取り組みは、家庭での協力によって、さらに効果が大きくなります。基本的な生活習慣を身につける生活ルールを家庭でも取り入れることで、「耐力」と「自立」はますます鍛えられます。算数や国語ができることが「学力」のすべてではありません。これから大人になっていく子どもたちに、社会で生きていく上で必要となる能力「耐力」と「自立」を身に付けるため、小学校、家庭、地域が一丸となって取り組んでいきたいものです。

